



発行所
〒371-0026
前橋市大手町2-14-6
Tel.027-221-2746
E-mail
mae-cato@pop17.odn.ne.jp
Web
<http://www.maecato.org>

『小さな群れよ 恐れるな』 (ルカ22・31)

御前 ザビエル 神父

『小さな群れよ、恐れるな。』とルカ福音記者は、救いの喜びを伝える使命を受けたのに思い煩う弟子を励まします。日本全人口に対して1%しかいないわたしたちキリスト者にとっても、福音をいかにして伝えたら良いか途方に暮れていて、恐れと落胆に陥りやすいのも事実です。恐れないように、イエスは『あなたがたの父は喜んで神の国をくださる』し、『ただ、神の国を求めなさい』とわたしたちを力づけます。さいたま教区宣教・福音化年にあたって、わたしたちも励まされますよう



ため執り成す祈り、神の国の成長を見た感謝の祈りです。信徒が集まり、神のことばを聞き、神への賛美と感謝の祈りを献げるのは福音宣教の第一歩です。

人々への奉仕

神の国は、優先的に、小さくされている人々に与えられています。『貧しい人々は、幸いである… 貧しい人は福音を告げ知らされている』(ルカ6・20、7・22)。イエスは、貧しい日常生活の中で悶えている人々の中に神の国の到来を告げました。イエスは、神の愛の具体的なしるしとなりました。わたしたちも神の愛のしるしと道具として、恵まれていない人、村八分にされている人々の足を洗う使命をもっています。恐れずに、惜しみない愛をもって、悲しむ人々のそばにいらせて頂くことによって、神の愛が示され証しされます。1962年～1965年に行われた第2バチカン公会議が教えるように『現代人の喜びと希望、悲しみと苦しみ、特に、貧しい人々とすべて苦しんでいる人々のものは、キリストの弟子たちの喜びと希望、悲しみと苦しみである。真に人間的な事柄で、キリストの弟子たちの心に反響を呼び起こさないものは一つもありません』。人々を貧しくさせる社会の仕組みに対して戦うのも福音宣教に含まれています。貧しい人の友になること、また不正と圧迫をもたらす状況に対して叫び声を上げることは、キリストのように十字架を背負うことであり、殉教の覚悟で神の国を証しすることです。

に祈っています。

福音宣教の源

『神の国』、それはキリスト者の人数と直接に関係のないことで、『神の国』は、この世界の中で働く力強い神の愛そのものです。神は無限の慈悲と憐れみによって、自ら望んでわたしたちを造り、そのうえ、わたしたちを自分の生命と幸福に与らせようとやさしく招き、わたしたちの心に愛を注ぎ、また今後も注ぐことをやめません。神の国の働きには、空間や時間の制限のない、すべての人に向けられています。わたしたちの福音宣教の小さな活動の先に、人々の心に、また社会、文化、歴史、諸宗教の中に神の国の働きがあります。

神の国を求めて

福音宣教の働き手になるには、先ず神の国を祈り求めるのが先決です。自分の生きる場において聖霊の導きと神の生きていることばの働きを捜し求めます。福音宣教に先だて、またその活動を伴う祈りとは、神のことばを深く味わう祈り、神の愛の素晴らしさを喜びとする祈り、救いを待ちわびる人々の

『抱いている希望について、いつでも弁明できるように』 (1ペトロ1:15)

教会は、その性質上、宣教者です。すべての人に福音を述べ伝えることが教会の第一、かつ本来の使命です。この使命を果たすには、まず、言葉よりは神と人々に献げられた生き方をおして福音を輝か

【2ページへ続く】

【1ページより続く】

せます。生き方をおして示された福音は、命のことばとして告げ知らせる時もあります。救いのことばを受け、信じる人は、教会に受け入れ、洗礼を受けてキリスト者になれば、それに越した喜びはありません。



敬老のお祝い



ロザリオ 信仰の花束

9月3日(日)、聖ペトロ・パウロ労働宣教会のレミ・オード神父様が来橋されました。神父様が翻訳なさった、『ロザリオ 信仰の花束』(シヨマル・ヴィグネロン著)の紹介も行われました。



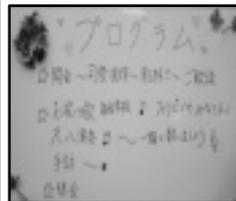
9月17日(日) 敬老の日を前に、ミサの中で敬老の祝福が行われました。

ミサの後、アレルヤ館において祝賀会が行われました。フィリピン・グループや教会学校など、歌の披露で花を添えました。ザビエル神父様による尺八の演奏も披露され、楽しいひと時を過ごしました。

初聖体 準備勉強会 入門式

9月10日(日) ミサの中で、初聖体に向けての準備勉強会の入門式が行われました。

約9ヶ月の準備期間を経て、来年のキリストの聖体の祝日6月3日(日)に初聖体を迎えます。



前橋教会バザー

10月15日(日)毎年恒例となった前橋教会バザーが行われました。あいにくの雨天でしたが、マリア会、教会学校、青年会、フィリピン・グループなどによる販売やゲーム・コーナー、歌や踊りの披露など、盛りだくさんなバザーとなりました。なお、バザーよりの献金は679,230円となり、前橋教会の建設営繕基金へ寄付されました。(編集部)



【↑聖歌隊による歌の披露】



【↓青年会】



【↑コーヒーとソフトドリンク】
【←フィリピン料理のお弁当】



【教会学校 ↓射的コーナーと手作りケーキ販売↓】

【お惣菜 各種 販売コーナー↓】



さいたま教区の皆様

教皇大使ジョゼフ・チョノトゥ大司教より
のお知らせ

フランシスコ教皇は、東京大司教区ペトロ
岡田武夫大司教より提出されていた教会法
401第一項に基づく、定年による辞職願
いを受理し、現在、新潟教区司教である、タ
ルチオ菊池功師（神言会）を東京大司教
に任命しました。

なお、菊池大司教の着座式（就任式）の日
程等詳細は後日お知らせします。

また、岡田大司教のさいたま教区管理者の
任務は、さいたま教区司教の任命・就任ま
で継続します。

2017年10月25日

さいたま教区管理者
大司教 ペトロ 岡田武夫

さいたま教区事務局長
終身助祭 矢吹貞人

その他の行事と今後の予定

☆☆☆

さいたま教区 第8回 マリアン・フェスティバル
8th MARIAN FESTIVAL
10/29 (日) 8:30A.M. ~
幸手市北公民館にて開催
Satte-shi Kita Community Center
(幸手市内国府間867)

☆☆☆

第12回 イースターヴィレッジ祭
11/3 (金・祝日) 10:00~14:00
児童養護施設 イースターヴィレッジにて開催
(足利市小俣町2294番地2)

☆☆☆

在世フランシスコ会 群馬地区 秋季大会
11/3 (金・祝日) 9:30~14:00
さいたま教区桐生研修センター
フランシスコの家にて開催
指導司祭 小高 毅 神父

☆☆☆

秋の墓前ミサ
前橋カトリック霊園（あかつきの村）
11/4 (土) 14:00~

☆☆☆

11月11日 (土)
10:30~16:00
さいたま教区 部落差別人権委員会
フィールドワーク

前橋市の被差別部落を訪ね、
差別について考える。
集合 10:30 JR高崎駅東口
会費 2,000円 (学生・18歳未満 1,000円)
昼食 各自持参
申込先 さいたま教区事務局
(☎048-831-3150)
申込締切 11/4

前橋教会 今後の予定

11月12日 (日)
ミサの中で「七五三の祝福」が
行われます。

☆☆☆

12月3日 (日)
待降節黙想会が行われます。

☆☆☆

12月17日 (日)
ペトロ 高瀬典之 神父
前橋教会 初ミサ

教会学校 子どもクリスマス

帰天のお知らせ

フランシスコ・ザビエル 小野里章一さんが9
月17日 (日) 帰天されました。享年91歳。
葬儀ミサ・告別式は、9月21日 (木) 前橋教
会にて執り行われました。